

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト取組内容

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



ずっと住みたい小松に～郷土愛を育み、ヨシ群落の保全を進めるSDGsの取組～小松小学校

○概要

「小松小は自然に囲まれているから、何百年先もこの自然を残したい」「自然保護の取組がしたい」という子どもたちの思いから、水質保全、生物の生息場所など琵琶湖の保全に大きな役割を果たしているヨシ群落の重要性と保全の意義を学び、ヨシ刈やヨシ植え等の体験を通して、地元小松への地域愛を育成する取組を行う。子どもたちが地域のリーダーとして活躍する未来へのきっかけとしたい。



○淡海環境保全財団や近江舞子内湖を愛する会と連携し、ヨシ学習やヨシ苗づくり、ヨシ植栽に取り組んできました。

○よし笛コンサートでは、よし笛演奏者の近藤ゆみこさんからヨシの大切さや利活用の方法のお話しをしていただいた後、よし笛を使った演奏を楽しみました。よし笛の美しい音色を楽しく聴きながら、琵琶湖の大切さを考える時間となりました。

○ヨシネットワークの鳥飼さんに講師としてきていただき、4年生がヨシを使った紙すきの体験を行いました。ヨシのパルプを水で溶いたものをミキサーでかき混ぜ、紙すきの枠で数回漉くって土台をつくります。好みで葉や花を飾りつけ、模様をつけます。さらにヨシをもう一度漉く、模様の上に薄い層を作ります。枠から外したら、しっかりと水分を取り、アイロンで乾かしたら完成です。

○このような活動を通して、ヨシ群落の重要性と保全の意義を学び、地元小松への地域愛を育成しています。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



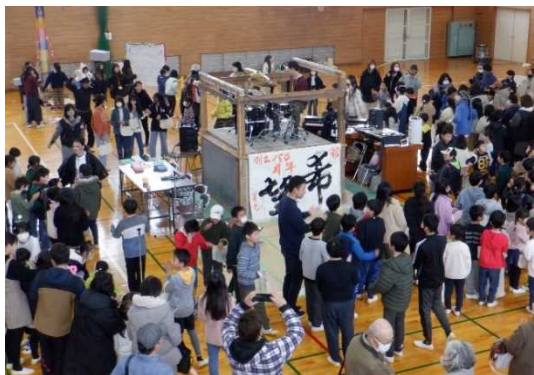
木戸小学校創立150周年記念を盛り上げよう!〈木戸っ子祭り〉 木戸小学校

○概要

木戸小学校創立150周年に向けて、「やりたいこと、やれそうなこと」のアイデアを募集。

子ども達に圧倒的人気の「木戸っ子祭り」を児童と保護者がコラボして実施しました。

〈内容〉 ①木戸っ子祭りの開催 ②記念グッズの制作と祭りでの活用 ③地域と学校をつなぐバウンダリーオブジェクトの取組



「木戸っ子祭り」では、3年生以上は自分たちで考えた楽しい手づくりのお店を計画、実行。お店に割り当てられた予算の中で企画しました。1,2年生はお客さんとして参加しました。保護者も7つのグループが有志で参加。祭りをいっしょに盛り上げました。当日自分たちで作った「150周年記念オリジナルバッグ」をもち、スタンプラリー形式でいろいろなお店を回りました。フィナーレでは、踊りやダンス、先生の合奏、バウンダリーオブジェクト(地域のキャラクター制作)で200点近く応募があったことの報告などを行い、大盛況で幕を閉じました。子どもにも大人にも思い出に残る一日となりました。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



わにっこレインボーロードをつくろう!

和邇小学校

○概要

令和5年2月16日で和邇小学校が創立150周年を迎えた。今年度は、保護者や地域の方々と一緒に150周年の誕生日をお祝いする和邇小学校150周年祭を開催した。全校児童から150周年お祝いプロジェクトのアイデアを募集した。多くのアイデアの中から「学校正門付近の長いフェンスにイラストを書いて、和邇小学校の入り口を明るくしたい」というアイデアを実現するため、成安造形大学の協力を得て、わにっこレインボーロード整備プロジェクトを行った。



「学校正門付近の長いフェンスにイラストを書いて、和邇小学校の入り口を明るくしたい」という子ども達のアイデアを実現するために、成安造形大学の協力を得て、全校児童が参加できるアートを制作することができた。150周年にちなんで150輪の花を子ども達の手形で正門前に描くことができたことで、和邇小学校にずっと残していける素敵なアートを作ることができたと多くの子ども達が満足している様子だった。和邇小学校150周年祭では、運営委員会が中心となって除幕式を行い、全校児童から募集した「わにっこレインボーロード」という坂の名前を披露し、全校のみんなでこの坂道を大切にしていこうという思いを持つことができた。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



小野の街 花いっぱいプロジェクト

小野小学校

○概要

地域の人と一緒に小野の街をよくするためにできることを学級会で考えました。そこで決まったのが、「小野の街 花いっぱいプロジェクト」です。中庭の花畑におよそ6000株の花の苗を植えました。地域の方と一緒に育てています。地域の施設や、お世話になったボランティアさんに花の鉢を届けて、街全体が花いっぱいになるようにしたいと取り組んできました。



小野小学校や小野の街をよりよくしていくために夢プロジェクトでやりたいことを学級会で話し合いました。各学級から出てきた意見を運営委員会で話し合い、「小野の街 花いっぱいプロジェクト」に決定しました。

まず、中庭を畑にするためにトラクターで耕してもらいました。中庭にできた広い花壇に、およそ600株のパンジーやビオラの苗を全校児童で植えました。水やり、草取り、咲き終わった花を摘む作業、腐葉土を与える作業などをして育てています。いつも、地域のボランティアの方がサポートしてくださいました。ボランティアさんには大変お世話になりました。学校だけでなく小野の街が花でいっぱいになるように地域の施設やボランティアさんに花を届けました。1・2年生は植木鉢のラベルをデザインし、3年生は植木鉢に苗を植えました。4年生は手紙を書き、5・6年生は地域の施設に届けに行きました。届けた日の様子が、ZTVで放映されました。

今、地域では鉢植えを大切に育てていただいています。学校の花壇には、色とりどりの花が満開です。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



伊香立の魅力発信

伊香立小学校

○概要

『伊香立の魅力を発信しよう』をテーマに大きく3つの活動を行った。

①伊香立小学校芝生グラウンドで学区の保幼小中学生そして、大人が一斉に集まり、イベント（折り返しリレー・じゃんけん列車等）を楽しんだ。②伊香立小中学校で、伊香立独自のマンホールを作成した。③伊香立の木材で文房具（木製定規・木製マグネットバー）を作り、他地域からも集まる伊香立マルシェで文房具の配布を行った。



○『伊香立の魅力を発信しよう』をテーマに大きく3つの活動を行った。

①10/31、伊香立小学校芝生グラウンドで学区の保幼小中学生そして、保護者や地域の方もが一斉に集まり、小中学の児童会・生徒会が考えたイベント（折り返しリレー・じゃんけん列車等）を楽しんだ。

②伊香立小中学校合同で大津市企業局さんの協力のもと、伊香立独自のマンホールデザインを制作した。また、そのマンホールを伊香立のスポットとして、伊香立公園に設置した。

③昨年の経験から、今年度も伊香立の木材を使って文房具を作りたいという思いから、地域の方の協力のもと、伊香立の木材で文房具（木製定規・木製マグネットバー）を作った。その文房具を他地域からも集まる伊香立マルシェで参加者へ配布した。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



中庭復活プロジェクト

真野小学校

○概要

校舎に囲まれ、どこからでも見ることができる中庭を、子どもたちが集える場に復活させようという一大プロジェクトである。6年生の児童が計画書を作成し、その計画書をもとに、全校児童で石拾いや土運び、草引きや花の苗植え、人工芝敷き、ベンチの設置に取り組んだ。学校運営協議会や地域学校協働活動推進員の方を中心に、地域の方々の協力を仰ぎ、中庭を大改造！閑散としていた中庭だったが、今では子どもたちの笑顔あふれる場所になっている。



真野小学校の学校教育目標「自分が好き 人が好き 真野が好き」といえる子どもの育成を具現化するために、6年生児童からアイデアを集め、6年生の児童が作成した計画書をもとに、地域の方々の協力を得ながら取組を進めました。6年生の計画書を、地域学校協働活動推進員の方を通して地域の会議（各団体長参加の会議）に図り、「地域とともに」という視点を大切に、実施していきました。

完成後には、

- ・真野フェス～芝生広場お披露目会～
 - ・読み聞かせボランティアによる「あおぞら文庫」
 - ・焼き芋パーティー
 - ・「笑顔あふれる真野小学校紹介動画」視聴会
- などを開催し、子どもたちの笑顔があふれる場所になりました。休み時間だけでなく、放課後にも子どもたちが集える場所になっています。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



子どもも大人もみんな笑顔Ⅲ～きらきら輝け真野北小～

真野北小学校

○概要

子どもも大人もみんな笑顔Ⅲ～きらきら輝け真野北小～

児童自身が主体的に活動内容を考えたことで、児童だけでなく家庭や地域を笑顔にする。

- ①真野北小学校花畑プロジェクト
- ②真野北小学校みざらプロジェクト
- ③真野北光のアート展示会



今年度も昨年に引き続き、児童自身が主体的に活動内容を考えたことで、児童だけでなく家庭や地域を笑顔にする取組を実施しました。

具体的には、児童会で考えたサブテーマ「きらきら輝け真野北小」イメージを大切にしながら、児童がアイデアを出し合って、以下の3つの取り組みをしました。

- ①学校の畑に地域の方々の協力を得て、児童だけでなく、保護者や地域の人たちなど見る人を笑顔にする花（ひまわり）を育成しました。
- ②校舎と体育館をつなぐみざらを新しくリニューアルしました。学校を美しくしようと6年生が地域の方と一緒にみざらを制作しました。全校から募集した図案をもとにペインティングして、すてきなみざらが完成しました。
- ③全校児童が光のアート作品を作り、体育館で点灯しました。点灯式では地域の方が音楽を演奏してくださり楽しい時間になりました。地域の方や保護者の方にも見に来ていただき、たくさんの方々の笑顔が見られました。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



堅田小学校の150周年をお祝いしよう

堅田小学校

○概要

◎堅田小誕生祭をしよう

- ・上学年によるお店屋さん（お化け屋敷・巨大迷路等）
- ・下学年によるお祝いメッセージパネルの制作

◎堅田小歴史クイズラリーをしよう

- ・児童会による堅田小歴史クイズラリー（参加賞にステッカーを作成してプレゼントする。）



◎堅田小誕生祭をしよう

上学年の子どもたちによるお店屋さんを実施した。巨大迷路やお化け屋敷、ボーリングなどを行い、2回のローテーションでお店屋さんとお客さんに分かれて行った。

同じボーリング屋さんでも、クラスやチームごとにオリジナルのあるお店にすることができた。巨大迷路では、本格的な物を購入できたので、子どもたちの夢がかなった。

下学年によるお祝いメッセージパネルの制作では、学校のキャラクターの色ぬりをしたり、学校のいいところやみんなへメッセージを書いたりした。誕生祭当日に、廊下に掲示しにぎやかな雰囲気になった。

◎堅田小歴史クイズラリーをしよう

児童会の子どもたちが、全校のみんなに堅田小のことをもっとしてほしいという目的でクイズラリーを実施した。参加賞の準備をしながら、たくさんの人に参加してもらったことを実感することができた。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



ふるさと仰木の魅力を発信～仰木ってすばらしい！～ 仰木小学校

- ・全校で田植え、稲刈りに取り組み、収穫した米を自分たちでデザイン考案したパッケージに入れ、保護者や地域の方々、関係機関等に配り、仰木の魅力を伝える。
- ・ふるさと仰木のよさを発信するための方法を考え、各学年で認識した仰木の良さを成果発表会で発表する。1・2年・・・仰木太鼓、仰木小唄の体験・継承 3年・・・仰木のステキ発見 4年・・・棚田学習 5年・・・米作り 6年・・・仰木をよりよくするには



地域の田んぼの先生方と共に、全校で田植え、稲刈りを行った。収穫した米を入れる米袋のデザイン画を全校児童から募集した。その中から最優秀に選ばれたデザインをシールにし、米袋に貼り付ける作業を行った。米の袋詰めをし、できあがったものを全校児童、地域の方々に配ることができた。

また、「仰木ってすばらしい！」を合言葉に、各学年が地域の魅力を発信しようと学習に取り組んだ。1・2年生は、仰木に伝わる太鼓と小唄を地域の方に教えていただき、継承していこうと練習に励んだ。3年生以上は、総合的な学習の時間に地域に密着した学習に取り組んだ。3年生は、「仰木の町のステキさん」というテーマで、身の回りで様々な仕事をしてくださっている方が多くいることを学んだ。4年生は、仰木ならではの地形を生かした棚田の素晴らしさに触れることができた。5年生は、1年間を通して米作りの中心となった。6年生は、これからの仰木をよりよい地域にするためにはどのようなことが必要か・どのようなことができるかを考えた。それらの学習の成果を2月の学習参観で発表した。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



里っ子ESDで魅力ある学校づくりとキャリア教育

仰木の里小学校

○概要

SDGsの理念（誰一人として取り残されない世界＝平和）を掲げ、ESD（持続可能な開発教育）に取り組んでいます。やりたいこと、目指したい目標、なりたい自分の姿を思い描きながら、実践に取り組む過程で、一人一人が達成感や成長を実感できる自己実現を目指すキャリア教育をねらいとしています。ユネスコ・スクール加盟を目指して活動を積み上げています。



教育目標「あなたもわたしも大切に～みつけよう☆いいところ」を学校・家庭・地域で共有しています。

6年生の学校改善「インプルメント計画」を筆頭に、5年生の「SDGs関連学習」、4年生「防災教育」「みのりの森プロジェクト」、3年生の「まちのきらりさん」、全学年での「エディブル・スクールヤード」などで事業予算を活用し、ESDが目指す資質・能力を育成する取組みを行っています。

本校では、際立った特色として、アクアリウム部、ESD有志クラブ、秋の児童集会の開催なども含めて、さまざまな教育活動を個別最適の学びと協働的な学びの場として、児童が企画し、運営し、ともに楽しみ、成果を喜び合える活動実践を促しています。

子供だけで企画し取り組む活動、地域や専門家の協力を得て取り組む活動、幼稚園や大学との連携など幅広い入口から、やりたいことを見つけ、自他のよさを見つけ、ともに成長していく喜びを感じられる子供を育てようとしています。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



さとひがプロジェクト

仰木の里東小学校

○概要

- ①みんなが集う中庭リニューアル&雨の日もみんなで遊べる居場所づくり
中庭にボッチャ場をつくり、異学年交流を進めるとともに、地域(老人クラブ)の皆さんと交流した。
- ②スクール農園ボランティアの皆さんと「地域つながり委員会」が協力して野菜を育て、販売した。
また、お世話になっている地域の皆さんを招待し、焼きいも交流をした。
- ③エディブルフラワープロジェクト(食べられるダリア・バタフライピー等の花を「地域の花」へと展開した。)



本校、学校夢づくりプロジェクト(さとひがプロジェクト)は、児童会執行部と昨年度発足させた「地域つながり委員会」が中心となり、「全校児童が関われる取組」「地域の皆さんと連携・協働できる取組」となるよう、活動を進めてきました。

子どもたちは、主体的にプロジェクトに取り組み、「やりがいや達成感」「地域の皆さんと協働する喜び」を感じたり、「地域に貢献したい」という意識が芽生えたりする等、大きな成果が出ています。魅力のあるまちづくりにつながるよう、今後も積極的に取組を進めてまいります。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



雄琴のまちの魅力を発信しよう

雄琴小学校

○概要

全国有数の温泉地を校区に持つ雄琴小学校では、例年おごと温泉の歴史や魅力について学ぶ「おごと温泉まなび旅」を行ってきました。今年はそこから一歩進んで、おごと温泉を含めた雄琴のまちの魅力を子どもたちが発掘し、素材を集め音声を乗せ、おごと温泉を訪れる観光客に向けた動画にまとめました。雄琴の良さがいっぱい詰まった「魅力いっぱい!雄琴のまち」はおごと温泉観光公園にて絶賛上映中!



「おごと温泉まなび旅」を終えた6年生の子どもたち、「雄琴のまちの魅力って?」と問いかけたところ、以下の8つが挙がりました。

- ①自然 ②レジャー ③駅 ④お店
- ⑤旅館 ⑥公園 ⑦名所 ⑧雄琴小学校

早速それぞれのプロジェクトチームに分かれて、魅力を深掘り、紹介したい素材を選定しました。

「坂からの景色」「琵琶湖のヨシ帯」「OPAL」「雄琴神社」「田中豆腐店」「雄琴小学校出身の有名人」などなど...

チームごとに動画の構成を考え、台本を作り、映像にナレーションを乗せていきます。プロの動画編集者にアドバイスをもらいながら試行錯誤。最後は全校が出演する場面を入れて動画が完成!

おごと温泉観光公園内の足湯カフェ「コトコトコットン」にて、期間限定上映の予定が、大好評のため延長上映が決定! 観光客や地元の方、保護者の方も多数来場いただき、雄琴のまちの魅力を広く発信できました。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



みんなが集う「日吉台ほっとステーション」

日吉台小学校

○概要

「去年の夢づくりプロジェクトで作ったテーブルとイスを使いたいな」「運動場に休憩ができる場所がほしいな」という夢がスタートの「日吉台ほっとステーション」です。全校児童が一人一枚、思い思いのデザインで世界でただ一つのタイルを作り、そのタイルで「ほっとステーション」の飾りつけをしました。「ほっとステーション」にはテーブルを置き、椅子に座って休憩したり、おしゃべりしたりする場所にします。



児童会から全校児童へ、こんなものがあっていいな。」「こんなことができたらいいな」という「みんなの夢」を募集しました。各クラスでは、学級会を開き「みんなの夢」について話し合いました。各学年からいろいろな夢が集まりました。各学年で考えた夢を代表委員が持ち寄り、代表委員会で児童会としての意見をまとめました。それが「日吉台ほっとステーション」です。全校児童みんなのものにするために、一人一枚のタイルを作りました。世界に一枚だけのオリジナルタイルです。このタイルで「ほっとステーション」を飾り、全校児童一人一人の思いがこもった「ステーション」にしました。ここには、昨年度の夢づくりプロジェクトで作った木製のテーブルとイスを置き、休憩したりおしゃべりをしたりする場所にします。卒業してからも遊びに来ることができる場所になるといいなと思います。

この「ほっとステーション」を作るにあたっては、地域の方に大変お世話になりました。感謝の気持ちを忘れず、大事に使っていきたいと思います。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



坂小×西教寺コラボ風鈴プロジェクト

坂本小学校

○概要

企画JRC委員会の子どもたちが坂本の町を盛り上げようと、「西教寺の夏の風物詩：風鈴と坂本小でコラボレーションしてはどうか」という意見を出しました。西教寺も快諾してくださり、『坂本小学校×西教寺コラボ風鈴プロジェクト』が始動しました。子どもたちが学校のキャラクターを使ってオシャレにデザインした風鈴が学校と西教寺の夏を彩りました。たくさんの地域や観光客の方々に見ていただくことができ、大盛況のうちに幕を閉じました。



企画JRC委員会の子どもたちが坂本の町を盛り上げようと、たくさんのアイデアを出し合いました。中でも、西教寺の夏の風物詩である風鈴とコラボレーションすることで、これまで以上に地域の方々にとって西教寺が身近に感じられるのではないかという意見に多くの賛同を得ました。

西教寺から快諾をいただき、『坂小×西教寺夢プロジェクト』が始動しました。企画JRC委員会の子どもたちが坂本会議（代表委員会）で全クラスに呼びかけ、学校のオリジナルキャラクターを使って、風鈴の短冊部分をデザインすることになりました。各クラスに配布された10個の風鈴が思い思いのデザインで彩られていきました。

完成した風鈴を学校と西教寺に展示しました。学校では、子どもたちが必ず見る昇降口に竿と針金で設置場所を作り、展示しました。西教寺では、風鈴展示イベントに合わせて7月22日から9月18日までの間、境内に展示していただきました。期間中、たくさんの地域の方々や観光客の方々に見ていただくことができました。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



坂小安全旗リニューアルプロジェクト

坂本小学校

○概要

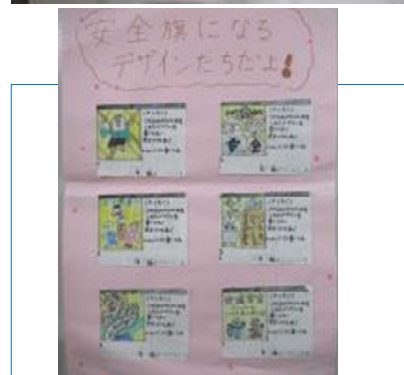
企画JRC委員会の子どもたちの「安全旗のデザインをサカえもんにしよう」というアイデアをもとに、全校の子どもたちに安全旗のデザインを募集したところ、たくさんの応募がありました。子どもたちは、学校のオリジナルキャラクターを使った、安全を守るためのデザインを楽しんで描いていました。応募の中から、企画JRC委員会の子どもたちが各学年1点ずつ選び、代表の6点が決定しました。子どもたちのデザインした旗の出来上がりがとても楽しみです。



企画JRC委員会の子どもたちが、坂本の町を盛り上げるための、たくさんのアイデアを出し合いました。中でも、「スクールガードさんや登下校を普段見守ってくださる方々とこれまで以上につながっていくために、安全旗をリニューアルして渡したらどうか」というアイデアが多くの賛同を得ました。そして、『安全旗リニューアルプロジェクト』が始動しました。

坂本会議（代表委員会）で全校の子どもたちに安全旗のデザインを募集したところ、たくさんの応募がありました。子どもたちは、学校のオリジナルキャラクターを使った、安全を守るためのデザインを楽しんで描いていました。応募の中から、企画JRC委員会の子どもたちが各学年1点ずつ選び、代表の6点が決定しました。

6点のデザインがプリントされた旗が出来上がるのは、3月上旬の予定です。その後、出来上がった旗をスクールガードさんや登下校を普段見守ってくださる方々にお披露目し、感謝の気持ちを伝える機会を持ちたいと考えています。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



「自分大好き 友だち大好き しもさか大好き」プロジェクト

下阪本小学校

○概要

- ・子どもの持ち味が発揮できる場を設け、子どもの成長を認め、新たな挑戦を支えることで、自己肯定感の向上を図る（「自分大好き」）。
- ・子どもたち同士のコミュニケーションの機会を増やし、お互いのよさを見つけ、違いを尊重し合い、仲よくしたり、信頼し合ったりして生活する態度を養う（「友だち大好き」）。
- ・地域の方に活動に参加していただくことで、地域の活動に触れ、地域をよりよくしようとする態度を養う（「しもさか大好き」）。



児童会執行部のメンバーで、予算委員会を開催し、取組に必要な物品を選定することから、活動を始めました。

10月から委員会活動で、イラストコンテスト、間違い探しコンテスト、塗り絵コンテスト、クイズ大会を実施しました。また、今年度は初年度ということもあり、生徒指導担当の教員と関係する委員会の児童を中心に企画を進め、けん玉の技を競う「けん玉王座決定戦」、縄跳びの技を競う「しもりんピック」を開催しました。大勢の子どもたちがけん玉や縄跳びの練習に励み、真剣な表情で大会に参加する姿が見られました。お昼の放送での入賞者発表の際は、他学年の児童の名前であっても、それぞれの学級で大きな歓声が沸き起こっていました。本格的な賞状やトロフィーを準備し、入賞した児童に校長より手渡ししました。受け取った児童は、本当にうれしそうでした。

学校運営協議会では、地域の方にクイズを考えていただきました。これらの活動で本校のすべての児童が、学校の合言葉である「自分大好き 友だち大好き しもさか大好き」となることを期待しています。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



スマイルフェスティバル～笑顔あふれる学校と地域に～

唐崎小学校

○概要

「笑顔あふれる唐崎小学校と地域に」をテーマに、今年度初めて「スマイルフェスティバル」という取組を開催した。児童の願いや発想を大切に、各学級が主催する出し物にみんなで参加することで、全校児童が達成感や充実感を得られることを目指した。また、地域の方にも出し物を主催してもらうことを通して、学校と地域が協働し、笑顔あふれる楽しいフェスティバルを実施することができた。



- ①年度当初、児童会運営委員会と高学年児童に夢プロジェクトについてのアンケートを実施した。今年度実施のリレーフェスティバル、ダンスフェスティバルに続き、3つ目の「スマイルフェスティバル」を行うことに決定した。
- ②3年生以上の各学級で、「みんなが笑顔あふれる出し物」を考え、話し合った。また、地域の方にも出し物を主催してもらうことで、学校と地域のつながりを深められるよう企画した。
- ③全校児童のアイデアを募り、投票し、スマイルフェスティバルの看板を作成した。
- ④当日は、異学年交流だけでなく、地域とのつながりも深まり、笑顔いっぱいの子どもの姿が見られた。来年度も取組を継続していくことを目指す。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



ご当地かるた しがやふる

志賀小学校

○概要

- ・地域、学校への興味や関心を持てるように、本学区の近江神宮、「かるた発祥の地」という学区の特色を生かし、「ご当地かるた」を制作。
- ・本校児童、保護者に公募し、投票でカルタの札を決定。
- ・完成したカルタは学校、児童クラブ、児童館、市民センターなどに配布する。

校内掲示



決定作品



はるになり さくらが
まいちは びわこいけ

めざせ！「しがリンピック」1い！

審査の様子



応募作品



・時期を12月～1月に設定することで、冬季休業中も可能とし、子どもだけでなく保護者にもはたらきかけ、共同で作成してもよいとした。実際、保護者と共同で作成し作品も複数あった。

・読み札と絵札のセットで作品とした。作品の中には、学校が大事にしている三校訓や「しがリンピック」などの学校独自の取組の他、地域の風物や地域の見守り隊の方々のことなどがかかれた作品があった。読み札の内容も絵札によくあった、考えられた作品が多数あった。

・保護者にはtetoru配信で内容を通知し、協力を願った。

・多くの作品が応募された。審査は3年～6年の各クラスの代表委員、各委員会の委員長、学校長、教頭、各学年の教員、保護者会会長の投票で行った。

・制作数としては、60部で、各学級に1部ずつ、残りは児童館や児童クラブなどに配布予定。(2月末完成予定)

・すべての作品を全校児童や保護者が見られるような形(参観日)で展示したり、かるた大会を開催して活用したりしたい、と考えている。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



ハッピーフラワープロジェクト

比叡平小学校

○概要

地域学習で、人口減少や高齢化など地域が抱える課題を知った6年生が、伝統の「ハッピーフラワープロジェクト」を継承し、地域を季節ごとの花で彩って、花の名所としてアピールする活動に取り組んだ。

活動のひとつである「ミニひまわりのプランターの配布」は、地域の方々に大変喜ばれ、また取組が新聞に記事として掲載された。友だちや地域との協働的な活動が課題解決のひとつの形となった体験は、探究的活動の有効性を実感させ、子どもたちにとって大きな自信となった。



【プロジェクトの活動内容】

5月・地域の人口減少や高齢化等の課題を知る。

- ・課題を解決する手立てを話し合い、「ハッピーフラワープロジェクト」の取組をスタートさせる。

- ・学校や地域施設の花壇を耕し、ひまわりの種を蒔く。

6月・全校児童が、校庭の周囲にひまわりの苗を植える。

7月・ひまわり畑が満開になる。

- ・ミニひまわりのプランターを地域の方々に配る。

★新聞社の取材を受け、取組が記事として掲載される。

9月・学校や地域施設の花壇を耕し、菜の花の種を蒔く。

2月・学校林に山野草の苗を植える。

3月・プロジェクトを5年生に説明して、引き継ぐ。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



タイムスリップしよう ふるさととの絆 ～わがまちふるさと藤尾2 資料館をつくろう～ 藤尾小学校

○概要

- ・現在本校の郷土資料室にある貴重な資料を有効活用し、「藤尾小郷土資料館」として地域の方とともに共有する場としての資料館づくりを進める。
- ・昔の民具や農具等について調べたり、使い方について地域の方に取材活動をしたり、資料の説明パネルを作成したりと、子どもたちの学習や思いをのせた資料館づくりをめざす。
- ・資料館づくりや地域の方との交流や体験活動を通して、未来の藤尾小の子どもたちに藤尾の魅力を伝承する。
- ・昔、現在、そして未来につなぐ取組するために、想像した未来予想図を子どもたちに考えさせ、展示したり、地域の方に披露したりしていく。



昨年度の夢づくりプロジェクトでは、タブレットを活用し、テーマに沿った藤尾のまちを撮影し、パネルに残していく取組を進めてきました。地域にも好評であり、次年度も藤尾のまちの良さを伝えていきたいという思いが地域にも児童にも出てきました。そこで、今年度は、さらに藤尾の良さを伝えていくために、長年校舎の一画に雑然と押し込まれていただけになっていた歴史的価値のある資料に焦点をあて、新たな「藤尾小郷土資料館（藤尾っ子資料館）」を、全校児童のアイデアや夢を出し合いながら設立することにしました。低学年では、昔の遊び道具を使って、地域の方と交流を図り、中学年では伝統工芸である「大津絵」に挑戦をしました。高学年では、民具や農具の調査と説明パネルづくりを行いながら、みんなの思いを形にしてきました。ついに、3月8日（金）には、プレオープンのセレモニーを開催しました。代表によるテープカットの式だけでなく、全校児童の夢や思いをのせたオブジェの除幕式を行いました。大津市教育委員会や学校運営協議会の皆様、このプロジェクトに関わってくださった方にも参列いただき、盛大なお披露目のセレモニーとなりました。この場所が、地域と学校、子どもたちをつなぐ拠点となるように今後も取組を進めていきたいと思ひます。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



地域に発信し、ともに歩む長等小

長等小学校

○概要

地域とのつながりが伝統となる長等小学校を目指して
地域に根差した学校を目指し、自分たちにできることを考えました。

また、高学年の地域へ発信する取り組みに関心を持つために、特別活動で異学年交流する取り組みも行いました。

地域に発信し、地域の方との交流を深めた各学年の取り組みと異学年交流の取り組みになります。



長等小学校では、生活科と総合的な学習の時間に長等の町に関心を持ち、自分たちで調べたり地域の人とも触れ合ったりする学習に取り組みました。

- 1年生・・・シニアクラブの方々と一緒に「昔遊び」をして楽しみました。
- 2年生・・・皇子山球場・公園探検を通し、長等の町の良さを知りました。
- 3年生・・・地域の防災について、消防団の方に話を聞き、
町を守る大切さについて考えました。
- 4年生・・・福祉体験後、地域に出て調べ、安全に住むための
バリアフリーマップを作りました。
- 5年生・・・1～4年生までの学習を踏まえ、より良い長等の町に
なるよう、地域の方に自分たちの考えを提案・発信しました。
- 6年生・・・自分の将来を考えるために、地域の方からお話を伺い、
働く意義について考えました。

特別活動・・・運動会の種目として、1～6年生が混合で行う
「たてわり種目」という競技を行いました。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



笑顔の花を咲かそう!逢坂スマイルレインボーロード

逢坂小学校

○概要

「花を通して色々な人とつながりたい。」という思いや、「毎日通る道を華やかにすることで、みんなを元気にしたい」という思いから一昨年度より取組を行っている。今年度は新たに夢づくり委員会を立ち上げることで昨年度までよりも児童が主体的に考える場を作り、児童の発想をもとに計画したり、学校運営協議会に児童も参加したりすることで地域の人たちと一体になって取り組んできた。



今年度の夢づくりプロジェクトとして主に3つの事に取り組んできた。

1つ目は、逢坂スマイルレインボーロードである。今年度も年3回たて割り活動として取り組むことで子ども同士の関係を深めながら、スマイルレインボーロードを華やかにすることができた。寄せ植えたプランターやハンギングバスケットは毎日その生長を楽しみながら、みんなの気持ちを明るくすることができた。

2つ目は、150周年にできた大津駅前花壇の整備である。委員会の仕事の1つとして水やりにいき、近くの清掃も同時に行ってきた。12月には地域の方に協力してもらいながら、花の植えかえもできた。

3つ目は、今年度の発案でできた一人一苗プロジェクトである。全校生徒が一苗ずつ育て、それを色々な形に活用していきたいという計画だ。学校運営協議会で意見をもらい、ハボタンの苗を育ててきた。種からなのでうまく育ったり、育たなかったりしたが、それを逢坂子どもまつりで地域の人に感謝の意味を込めて配ったり、今後学校のマスコットキャラクターの顔の形の花壇を作り植えたりしたいと考えている。

今年度も地域の方に協力してもらいながら進めてきたが、さらに学校地域が一体になって取り組んでいけるかたちを模索していきたい。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



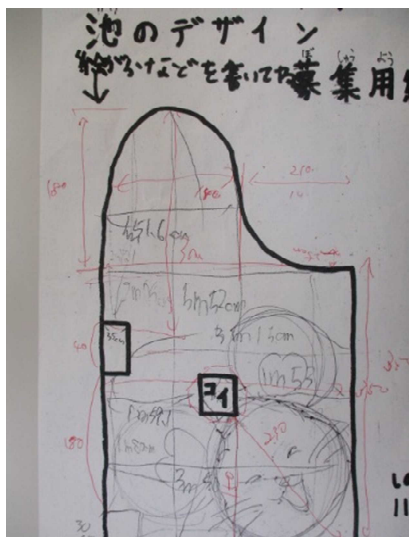
ピアノ池を復活させよう！

中央小学校

○概要

昨年度6年生が奉仕活動できれいにしてくれた前庭の池。耐震工事等の折には取り壊しの話もありましたが、地域の方々の支えのもと今にも残っています。

美しくなった池の姿を見て、「自分たちでさらに新しく生き返らせたい」と子どもたちが考え、委員会活動でデザインを募り、池の底をタイルアートで装飾、150周年を迎えた中央小の新たなシンボルとなることを目指します。



児童によるデザイン募集用紙



下絵を制作中



【プロジェクトの活動内容】

児童会を中心に今年度の計画を以下のように進めた。

<学期ごとの取り組み内容>

- 1学期 活動内容の検討
- 2学期 装飾方法の検討・デザイン募集
- 3学期 下絵作成・タイル仮置き

<具体的な流れ>

児童会「スマイル委員会」で発案、装飾方法を検討し、全校に「ピアノ池」のデザインを募集。募集用紙も児童が作成した。学校運営協議会にて地域の方にも協力依頼をし、PTAとも連携してボランティア依頼をした。地域と保護者の協力の下、ともに取り組みを進めることとなった。今後はタイル業者とも連携しながら、令和6年度の完成に向けて取り組みを進めていく。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



地域のきずなをみんなでつなごう

平野小学校

○概要

人と関わり 学べ! 遊べ! 平野にときめけ!をテーマに

- ①自分達の住む街にときめくことで自慢できる地元となるよう全校縦割りウォークラリーを実施。
- ②平野に住んでいる方、勤務・通学している方たちに笑顔と元気のおすそ分けとして、膳所駅にある陸橋で作品展を開催。
- ③平野を盛り上げ、人を呼び込むイベントとして児童が考えたクイズに答えて商店街を巡る膳所駅前商店街謎解き探偵イベントを開催。イベント周知のためびわ湖放送でCMを放映。



①全校縦割りウォークラリーは1000名余りの児童が一斉に地域へ飛び出し、ミッションをクリアするイベント。歩いてまわることで新たな発見をし、地域を好きになることが目標。また、地域の方々や保護者の方々に全域にわたり見守りをしてもらったことで、自分たちが大切にされていることも再認識できた。

②今年で3回目となる作品展は楽しみにしてくださっている地域の方の声も聞かれ、子ども達も楽しみにしている達成感のある企画。

③児童が考えたクイズに答えながら駅前商店街のお店を巡る。地域に特化したクイズで地域を知ってもらう機会となった。また、商店街の全面協力もあり、大きなイベントとなった。

県内全域から人を呼び込むためびわ湖放送でコマーシャルを放映。コマーシャルには児童が出演し、イベントのお知らせを行った。子ども達の発案を大人が実現させてあげられたことで想いは届くんだと自己有用感にも繋げられたと思う。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



私たちの誇りの町「膳所」！

膳所小学校

○概要

令和3年度、4年度と膳所学区に伝わる「膳所茶」を軸として地域の歴史や文化に触れる環境をつくってきた。令和5年度は、学校運営協議会の支援も受け、全学年で膳所学区の地域・歴史・文化・人々に触れながら、主体的・探求的に学ぶ地域学習「膳所学」をより発展させ、全校児童に地域を誇りに感じ、大切にしていこうとする心情を育みたいと考えている。



令和3年度、4年度に「膳所茶」をもとにした地域学習の取り組みを、全学年が地域に学ぶ地域学習「膳所学」と位置づけた。
1年生…保幼園の園児たちとのふれあい
2年生…地域の土地で収穫できた野菜の収穫と喫食の体験活動
3年生…地域の商店・文化財・施設の探求学習、昔の暮らし学習
4年生…地域の防災学習
5年生…膳所茶の歴史や文化、膳所のまちのよさの探求学習
6年生…膳所のまちの歴史学習、膳所茶の「茶の湯体験」等
実際に地域に出て、地域の人とふれあいながらともに活動する体験を通して、主体的、自発的・探求的な活動へとつなげていくことを大切にしていこうと取り組んできた。豊かな地域教材と、多くの方のご支援をいただきながら取り組みを進めることができ、子どもたちがより膳所のまちを誇りに思い、大切にしていこうとする心情を育む「膳所学」とすることができた。学校評価保護者アンケート「地域の人や物とのかかわりを重視した教育活動をしている」の項目は2.2→2.3に、児童アンケート「自分からあいさつしている」の項目は、2.3→2.5にと、それぞれ良い傾向と表れている。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



富士見小学校 花壇アートをつくろう!!～富士見の絆を深めよう!!～ 富士見小学校

○概要

1年生と6年生。2年生と5年生。3年生と4年生がペア学年になり、自分たちでデザインを考え、花壇アートをそれぞれにつくる。デザインについては、その花壇を見た人がどんな気持ちになるか、どのような学校にしたいか等を考え、案を出し合う。色や時期など、どのような花がふさわしいかを調べ、花壇に植える花を選んだり、配置・必要数なども考える。



- ①ペア学年ごとにデザインを考える。
(どのような学校にしたいか。その花壇を見た人にどんな気持ちになって欲しいか等を考慮して。)
- ②どのような花を植えるか考える。
(時期や色合い、自分たちで育てられるか等を考えたり調べたりする。)
- ③花壇づくり
(上学年が下学年をサポートしながら、力を合わせてつくる。)
- ④記念撮影
(ペア学年ごとに写真の撮り方も工夫する。)
- ⑤お世話
(水やりや雑草を抜く。水やりの量や頻度なども考える。害虫対策など必要なことはあるのか等。)
- ⑥富士見小学校の運動場はたくさんの方がスポーツ等で利用されているため、地域の方の憩いの場にしていただけるよう、子どもたちから働きかける。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



三田川ふれあい広場が魅力ある場所になるために 晴嵐小学校

○概要

- ・二年前の夢プロジェクトで三田川ふれあい公園にベンチを作成したことで地域の方や子どもたちにとってその場が憩いの場になりつつある。さらに、その場を、魅力ある場にするために地域の方とともに進めていく。
- ・三田川のクリアファイルを作ったり、イベント(らんらんまつり)を開催したりすることで、三田川のよさを全校、地域へ広める。



二年前の夢プロジェクトで三田川ふれあい公園にベンチを作成したことで地域の方や子どもたちにとってその場が憩いの場になりつつある。そこで、その場をさらに魅力ある場にするために活動した。

夏休みには、三田川を守る会の方と協力し、清掃活動への参加を呼びかけ、清掃活動を行った。また、晴嵐の広場に児童会で参加し、晴嵐小学校の取り組みの一つとして三田川ふれあい広場が地域の憩いの場になるように活動していることを報告した。

2学期には、晴嵐小学校で「らんらんまつり」を開催した。お店を出したい人を募り、全校のみんなに楽しんでもらえるようにそれぞれが工夫をして取り組んだ。三田川の生き物を紹介するブースも設置し、全校にも三田川の魅力を知ってもらうことができた。

最後に、地域に「三田川ふれあい広場」という場があることを知ってもらい、その場が地域のよき交流の場となることを願って、写真を撮影し、クリアファイルを作成した。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



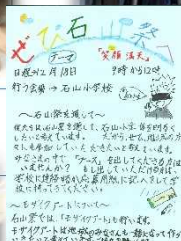
笑顔満天 石山祭

石山小学校①

○概要

「笑顔満天」をテーマに、石山小のみんなも地域の人も笑顔で元気になれるような活動をしようと話し合い、本年度は、2つの願いを実現させました。

- ①全校みんなとお世話になっている地域の方たちで、イベントを楽しみたい!!⇒石山祭
- ②来年の150周年に向けて、みんなで一つの大きな作品を作って飾りたい!!⇒モザイクアート



★笑顔満天 石山祭★

昨年に引き続き、「今年度も『石山祭』がしたい!!」と多くの声があがりました。

高学年の子どもたちは、輪投げやストラックアウトのブースを作って、全校に楽しんでもらえるように工夫しました。また、最後には、運動場に全校が集まり、○×ゲームを行い、大いに盛り上がりました。主体的に活動する高学年の姿は、下学年の憧れとなりました。

遊びのブース運営は、高学年の児童に加え、地域で活動されている絵手紙やダンスサークル、地域女性会等様々な団体に呼びかけ、昨年より多くの方に参加していただきました。おかつ光ルくんも来て、石山小学校のキャラクターの「石山式部っち」との写真撮影コーナーも人気でした。地域の方からは、「どの子ども生き生きと活動する様子に私自身も元気になりました」「子どもたちが自分たちで考え実行できる喜びを感じていましたね」という感想をいただきました。地域の方々と交流し、温かさに触れるイベントにもなりました。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



笑顔満天 モザイクアート

石山小学校②

○概要

「笑顔満天」をテーマに、石山小のみんなも地域の人も笑顔で元気になれるような活動をしようと話し合い、本年度は、2つの願いを実現させました。

- ①全校みんなとお世話になっている地域の方たちで、イベントを楽しみたい!!⇒石山祭
- ②来年の150周年に向けて、みんなで一つの大きな作品を作りたい!!⇒モザイクアート



★笑顔満天 モザイクアート★

来年、石山小学校が150周年を迎えることを知った子どもたちは、「今年の夢づくりプロジェクトでは、学校や地域で、一つの大きな作品をつくりたい!」と、モザイクアートに挑戦しました。

全校のみんなで一人一枚ずつ色塗りをし、それらを並べ、貼り合わせます。貼り合わせは子どもたちには難しいので、民生委員さんに協力していただき、全校分の紙を並べ、ガムテープで貼り付ける作業をしていただきました。

絵の周りは、子どもたちの「こんな学校に!」という願いを書いたメッセージカードで囲まれています。また、焼きいも大会や自治会長さんの会議等で呼びかけ、「石山をこんな地域に!」という願いも集めました。地域の幼稚園や保育園の子にも5・5交流で絵を描いてもらい、一緒に作りました。

完成した作品は、石山祭でお披露目しました。3階から降ろすと、大歓声と拍手が沸き上がりました。3月には、懸垂幕にして、校舎の外壁に設置しました。150周年に向けて、地域と子どもたちの願いが詰まった作品で、石山のまちに笑顔を届けます。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



笑顔いっぱい南郷小学校プロジェクト

南郷小学校

○概要

南郷スマイルボランティア (NSV) を中心に、笑顔が広がるいろいろな活動をしました。

☆南郷スマイルレンジャーによる劇やよびかけ ☆スマイルを増やそう! イベントの企画運営

☆南郷スマイルの森 (友だちのすてきな姿を見つけて実の形のカードに書き、スマイルの木として校内に掲示する。) ☆南郷スマイルの花を育てよう



「南郷小学校を笑顔あふれる学校にしよう!」を合い言葉に、70名を超えるNSV (南郷スマイルボランティア) が集まり、劇やイベント等の企画・運営をしました。

終業式などで、啓発劇を6回発表しました。地域の人権の集いでも披露する機会をいただきました。南郷戦隊スマイルレンジャーは南郷のみんなの笑顔と安全を守るヒーローです!

全校によびかけて、「スマイルレンジャーを探せ!」「スマイルレンジャーリアル間違い探し」「スマイルウォークラリー」などいろいろなイベントも楽しみました。

南郷小の友だちのすてきな姿を見つけて実の形のカードに書き、スマイルの木として校内に掲示し、放送で毎日紹介しました。今ではスマイルの木がどんどん増えて、スマイルの森になっています。校内だけでなく、地域の方にもスマイルを広げようと、南郷支所にもスマイルポストを設置させていただき、地域の方にもスマイルの実を書いていただいています。

昨年までの夢づくりプロジェクトでつくった、みんなの憩いの場「自由の森」に花を咲かせようと、花の苗を植えて育てています。南郷支所にもスマイルポストと一緒に届けました。

いろいろな取り組みで、南郷の町にたくさんの笑顔が広がりました!

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



大石スターライトデー

大石小学校

○概要

12月21日の夜に、全校児童の光る作品展示会と校舎のイルミネーションイベントを開催した。今年度で3年目の取り組みであり、児童も地域も意欲が高まっている。本校児童だけでなく幼稚園や地域からの出品も広がってきている。また、地域の方々や保護者がイルミネーション設営や警備誘導など買って出てくださるようになり、まさに学校と家庭と地域が共に創り上げるイベントになっている。



初めての試みとして、たてわり班でペットボトルアート制作に取り組んだ。異学年のメンバーで創意工夫を凝らし、タワーやロケットなどを作り上げた。LED電球を巻き付けたアートが25作品出来上がり、全校児童の個人作品と共に、体育館に展示することができた。幼稚園や地域の方からの出品があり、体育館がより華やかになった。

児童会として取り組んだ、顔はめパネルとプラネタリウムは、主体性の高まりが見られた。また、合唱クラブによる歌の発表は、会場を盛り上げた。

来場者は500名に及び、(児童数は192名)大盛況だった。自分の作品を見てほしいと親の手を引く子の姿や、イルミネーションと記念写真を撮る笑顔はどれも輝き、幻想的な空間となった。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



謎解きスターイベント&全校ピクニック 大石小学校

○概要

「あいうえ大石スタープロジェクト」として3年間継続して取り組んでいる。あいさつ、いきいき、うきうき、えがお、オールスターの5つのスターになろうと掲げ、学校生活を前向きに過ごすためのプロジェクトである。さらに行事として各種イベントを計画している。今年度は、えがおスターイベントとして、たてわり班のメンバーで協力して、校舎中の謎を解いて回り、ゴールの緑地公園を目指して歩き、お弁当を食べて遊ぶというイベントを開催した。



「今年は全校で何がしたいか」を代表委員会で募った中から、謎解きとピクニックの二案を採用し計画した。

当日の謎解きイベントは、芸能人がプロデュースする既製品を使用した。当日までの練習期間には、自作の謎解き問題を募集して、廊下に掲示した。通りがかりに立ち止まって、頭をひねる姿がたくさん見られた。出題したい子も解いて回りたい子も現れ、全校が考えることに意欲的なムードになった。そんな姿を見た教師たちも、授業作りのヒントを得た様子だった。

当日は、たてわり班で協力して解いて回り、ヒントを出し合ったり、低学年の子がようやくひらめいた答えに、高学年が褒めていたりする姿があった。

緑地公園では、お弁当を頬張り、全校が思い思いに遊ぶ姿があり、ほっこりとした、のんびりとした、すてきな時間になった。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



ふるさと田上愛向上プロジェクト ～自分大好き・友だち大好き・田上大好き～ 田上小学校

○概要

昨年度までに実行した「田上山ハイキング」「防災カフェ」の経験を生かして、今年度は、全校児童、保護者、地域の方々が田上小学校に集まり、「田上をもっと知り、もっと好きになり、もっと仲良くなれる」ようなブースを回るスタンプラリーで、楽しみながら学べる企画を6年生が考えた。保護者や地域にもポスターを作ってブースへの参加を呼びかけ、運営面も6年生が主体的に進めていき盛り上げることができた。



学校運営協議会を中心とした地域やPTA保護者、中学生ボランティアが参加し、6年生が企画運営した「田上っ子全員集合! 田上スタンプラリー」を9月30日に開催した。

当日は、輪投げでクイズや田上コイン落とし、顔はめパネル、大豆つかみなど「田上をもっと知り、もっと好きになり、もっと仲良くなれる」15のブースをスタンプラリーで巡り、全校児童や保護者が楽しみながら学べる機会となった。

また、地域の方も、子どもたちに喜んでほしいと「田上米を使ったポン菓子」を作ったり、地域の活動を知ってほしいということで消防団が消防車を持ってきたりするなど、子どもたちの企画を盛り上げてくれた。

さらに、保護者も多く参加し、学校・地域・保護者が一つになるという時間をつくることができた。今後、さらにつながりを密にしていき、「自分たちでも大きな行事を作って成功させることができた」という達成感と大きな自信を得た子どもたちを中心に置いた田上コミュニティを充実させていきたい。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



夢広場～かみたは みんなの たからもの

上田上小学校

○概要

本校は、令和6年5月に創立150周年を迎えます。子どもたちは地域の宝として、愛情をたっぷり受けて育ってきました。そんな子どもたちが、地域や学校の歴史や伝統、魅力を発信することで、一人ひとりが「かみたっ子」として誇りと自信を改めて感じる取組となりました。夢花壇、夢舞台、夢広場が子どもたちや地域の方にとって憩いの場となり、学校と地域との結びつきがさらに強くなることを願っています。



6年生は最高学年として、1年生との交流会やたてわり活動等で、学校を引っ張るリーダーとして活躍してきました。令和6年に150周年を迎えることもあり、上田上小学校の児童の仲の良さや地域の温かさを、これからも大切にしてほしいという思いを込めて、「笑顔輝くかみたっ子」というスローガンを作成しました。中庭には、地域の方の協力を得て、かまどベンチを設置し、夢花壇、夢舞台と共に、生き生きと活動できる素敵な空間となりました。次年度に学校と保護者、地域の方と協力し、芝生の張り替えを行います。夢広場として上田地域みんなの宝物になることを願っています。また、上田上小学校では、豊富な地域教材を活用し、地域の人とふれあいながら、様々な体験活動に取り組んでいます。3年生は、ホテル学習を通して、上田上の自然環境の大切さを学び、ホテルを守りたいという思いをポスターやティッシュにして地域に届けました。1月には全ての学年が、学習発表会で地域の魅力を様々な形で伝え合うことができました。かみたっ子の夢がどんどん広がる学校、地域になりますように！

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



青山イルミネーションプロジェクトⅡ ～学校・地域に輝きを～ 青山小・中学校

○概要

自分たちの住んでいる地域に愛着や誇りをもち、安心安全で心豊かなまちづくりに向けて、今年度も、中学校と一体となりイルミネーションを核に取組を進める。青山小・中学校コミュニティスクールで掲げている「自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動を起こす子どもの育成」をめざし、情熱青山委員会の児童が中心となり、アイデアを企画・立案し、形にしていける。

※ZTBが取材に来られました。



小学校の今年度のテーマは・・・

「みんなでつくろう キラキラかがやくクリスマス」

各学年でイルミネーション作りに取り組み、12月6日（水）に点灯式を行いました。

昨年度はZoomを用いて点灯式を行い、その後、学年ごとに鑑賞しましたが、今年度は一堂に会して、各学年の作品紹介、作成ムービーの鑑賞、クリスマス〇×クイズ、うたなどを楽しみました。

点灯カウントダウンの際には、閉じていた目を開けた瞬間、大きな歓声が沸き起きました。どんなテーマパークやショッピングモールのイルミネーションにも負けない、力を結集したイルミネーション。

子どもたちは、幻想的な光景を目に焼き付けるとともに、同じ空間を全校で楽しむ一体感を味わいました。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



青山イルミネーションプロジェクトⅡ ～学校・地域に輝きを～ 青山小・中学校



★太陽電池を使用してイルミネーションが点灯します。
クリスマスに向けての夕方の時間、やさしい灯りが小学校を包みます。
児童と保護者以外にも、地域住民や卒業生たちがゆったりと過ごしていました。

★夜に使った電池を充電するため、「ちょこボラ」の子どもたちが大活躍。毎朝、みんなのためにちょこっとボランティアをする気持ちのよい姿が見られました。

★情熱青山委員会の児童を中心に、プロジェクトを進めてきました。昨年の経験を生かしながら、試作品を作り、それぞれの学年で何を作ってもらうかを決めていきました。

★1階廊下には、イルミネーションが輝く様子の写真が掲示されています。



イルミネーションの他、今年度
昼休みコンサートを計5回、開催しました。
毎回、子どもたちや教職員の歌やダンスなどのパフォーマンスで大盛況でした。
第6回には、青山幼稚園の5歳児も出演してくれました。



★昨年度、地域や保護者ボランティアの力をお借りして完成したメインタワーは健在。
今年度も「子どもたちの笑顔のためなら!」と修復や設置などたくさんご協力いただきました。
★今年も、幼稚園のクリスタルタワーと一緒に輝きました。

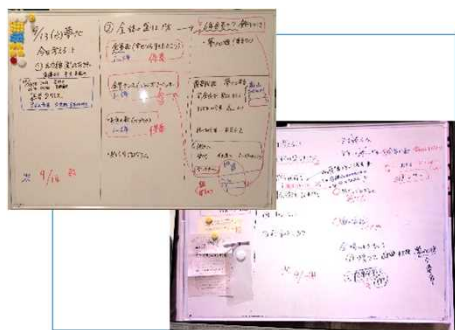
令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



夢いっぱい！音楽でつながろう！瀬田っ子コンサート！ 瀬田小学校

○概要

- ・6年生の「夢プロ」実行委員を中心に、全校児童と地域の方が一緒に楽しめるイベントを計画・立案する。
- ・全校児童が一堂に会し、地域の方もお招きして、野外フェスティバル『せたドリムコンサート』をする。
- ・ゲスト奏者として地元の龍谷大学吹奏楽部に来ていただき、演奏を聴かせていただく。
- ・自分たちでできる仕事を、クラスごとに分担してイベントを盛り上げる。



- ・地域の方と子どもたちが一体感をもてる企画を6年生の夢プロジェクト実行委員で考えたところ、数案の中から『野外音楽会』に決定した。「実際に一同に会し、音楽を楽しんで聴いたり、歌ったりすることで一体感を高めたい」という意向が多数を占め、龍谷大学の吹奏楽部に演奏を依頼し、演奏曲目を全校児童のアンケートで決めてリクエストした。また、ボランティア配食させてもらっている地域の高齢者と一緒に歌ったり、瀬田幼稚園の子と一緒に踊ったりできる曲を選んで、歌ったり踊ったりを6年生がリードした。コミュニティスクールでお世話になっている方にも、招待状をお送りした。
- ・保護者にはパスワードを配布し、動画配信した。放課後に親子で楽しんでいた。
- ・6年生児童が企画し、招待状の作成から、設営・受付業務や司会・伴奏・音響などを分担し、行事を運営した。その姿はお招きした方や5年生以下の児童に魅力的に映った。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



手作りイルミネーションイベントを開催し、瀬田南小学校を彩ろう！ 瀬田南小学校

○概要

【ゆめにわ】

2年前に作ったゆめにわをいこいの場所として過ごせるように継続して整備し、季節の花を植えました。

【イルミネーションイベント】

全校児童で協力して、光るツリーやペットボトルライトを手作りし、瀬田南小学校を彩るイベントを行いました。



・2年前に作った「ゆめにわ」が、さらにたくさん子どもたちのいこいの場となるように整備を進めました。星形の花壇に季節の花を植えることで、彩りのある庭になりました。子どもたちがどのように花を植えたいか、デザインを考えました。また、しきつめたタイルの道から雑草が生えないように、除草シートを敷き、美しく整備をし直しました。地域の方にやり方を教えてもらったり、一緒に作業をしたりして交流しながら作業しました。

・イルミネーションイベントでは、児童会の子どもたちを中心に、ゆめにわのイルミネーションを考えました。学年ごとに手作りでペットボトルライトや光るツリーを作りました。紹介動画や手作り作品の見学会など、全校児童にPR活動を行いました。また、びわ湖放送の取材を受け、地域への呼びかけをしました。たくさんの家庭や地域の方に見に来てもらい、いこいの時間となりました。また、2月に開催される地域のイルミネーションイベントに作品を出品し、さらに地域の方に楽しんでもらえる機会になりました。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



東っ子の夢

瀬田東小学校

○概要

- ・ドリームマッチの開催（リレー大会）・学区フェス（ドリームフェスティバル）共同開催
- ・ドリームステージの開催（団体演技発表会）
- ・夢ソングの展開
- ・音楽フェスティバルの開催

夢ソング作成に関わってくださった作曲家の加藤氏、ボーカルのErika氏を招待し歌を披露してもらう。



夏休みに、過去2年間開催したイルミネージュを地域の学区フェスと共同開催した。夏休みの夜空をイルミネーションと子どもたちの笑顔が彩った。

12月には東っ子応援ソング「ASK」の作曲をしてくださった加藤景子さんを招きコンサートを開催した。この「ASK」は、去年の「学校夢づくりプロジェクト」で子どもたちが作詞し、加藤景子さんが作曲した東っ子応援ソング。曲名の「ASK」は、校訓でもある「挨拶、掃除、聴く」の頭文字から名付けた。毎朝校内放送でも流れている東っ子の大好きな曲である。コロナ禍で全員でそろって歌えなかったが、今年度は全校で集まって歌いたいという子どもたちの願いを実現させるため、加藤さんと、収録でお世話になった歌手のErikaさんを招待し参加型コンサートを開催することができた。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



広げよう、つながろう、瀬田北っ子の輪!～みんなの心を一つに～

瀬田北小学校

○概要

- ・本校のマスコットキャラクター「せたきたぬき」の掲揚旗の制作
⇒6年生の実行委員が中心となり、デザインの検討を行い、決定。原画を制作し、印刷依頼をした。
タペストリーとともに、校内でお披露目した後、運動場のポールに掲揚予定。
- ・タペストリーの制作(計36枚)
⇒テーマ「夢」とし、全学級でデザインを検討し、決定。原画を制作し、印刷依頼をした。2月末に、完成したタペストリーを体育館のギャラリーに設置し、「タペストリーお披露目セレモニー」を実施予定。



6年生の夢づくりプロジェクト実行委員を中心に、本プロジェクトを実行した。本校のマスコットキャラクターである「せたきたぬき」の掲揚旗と、学級ごとに「夢」タペストリーの制作を行った。掲揚旗は、“虹と文房具とせたきたぬき”をテーマに、運動場の青空に映える旗に仕上がった。タペストリーは、各学級で「夢」をテーマにデザインし、ペンや絵の具等で原画を描いた。タペストリーに拡大印刷したものを体育館のギャラリーに飾る予定(2月末)。

児童一人ひとりが「せたきたぬき」に込められた7つの思いや瀬田北小学校のよさについて考え、愛校心を高めることができたと考えている。学級で原画を制作し、全校で作品を見合い交流することによって、児童が人とのつながりを大切に、友だちと協力し作り上げる喜びを感じることができた。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



「ふあいと君」が動き出す ー中庭プロジェクトー

志賀中学校

○概要

- ・全普通教室から観覧でき、生徒会や地域団体などが全校生徒に向けて発表できる場所。
- ・お昼休みに生徒が自由に出入りをして、日向ぼっこをしながらのんびりとおしゃべりできる場所。

以上のような中庭の立地を生かして、活気と潤いのある快適空間を創造するため、志賀中の「ゆるキャラ」、「ふあいと君」が動き出しました。



全校生徒に向けて効果的に情報発信ができるように、蓄電式で持ち運びが簡単な放送設備を中庭に設置して、生徒会からののお知らせや生徒主体のミニステージを対面で発表できるようにしました。

また、学校生活に潤いを持たせるために、中庭に頑丈なアルミベンチを複数台設置し、休息場所として、誰もがのんびりと利用できるようにしました。

全教室から観覧でき、自由に出入りできる中庭の特性を生かしたプロジェクトと、それを実施するための約束と方法をみんなで考えました。

「ふあいと君」の活躍で「中庭プロジェクト」を推進して、活気や潤いのある学校づくりを行います。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



KCLプロジェクト

葛川小・中学校

○概要

山間地域と母校を盛り上げるため、地域のことをKnow知ってもらい、Come来てもらい、Live住んでもらう、KCLプロジェクトを推進しています。小学6年生は間伐した杉の枝葉を活かしたアロマを開発しました。中学3年生は、過疎に悩む地元、葛川・久多を明るく灯し、人を呼び込むため、豊かな水と森林資源で子供水力発電所を開発しました。



葛川・久多の良さは豊かな森林資源です。小学校5, 6年生は、森林の健康を保つのに必要な間伐や枝打ちで出てくる枝葉を活用したアロマ製品を開発しています。森林組合のご指導のもと、学校で管理する学校林で杉の木を切り倒し、その枝葉を使ってアロマオイルを蒸留しました。精油の際、副産物として出てくる水はアロマ同様に癒しの効果があります。その水、フローラルウォーターをおそうじスプレーとして、地域の各施設に設置し、葛川を訪れた人たちに使ってもらい、杉の木の魅力を広める活動を行っています。

中学3年生は、山間の豊かな水と森林を活かし、木製水車の発電所を開発しています。かつて、山間で暮らす人々は、切り出した木々を筏に組み、川に流して街まで運びました。伝統の「筏流し」です。安曇川流域では伝説の筏師「シコブちさん」がいくつもの神社に祀られ、独自の水文化を息づかせています。河童退治の伝承もあります。子供水力発電所で生まれた明かりは、伝説に登場する水の豊かさの化身「ガワ太郎」や、森林資源から生まれた水車を明るく照らしています。山間の価値が広く伝わり、私たちの学校、私たちの地域が、いつまでも明るくあることを願っています。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



伊香立ブランディング ～伊香立の魅力を発信～

伊香立中学校

○概要

- ①伊香立のフォトスポットをつくろう
- ②伊香立の魅力を発信しよう
- ③中学校の取り組みを地域へ発信しよう
- ④小中で合同のイベントを実施しよう
- ⑤伊香立を盛り上げよう

今年度は大テーマを「伊香立ブランディング」として、伊香立の魅力を発信するとともに、身近なSDGsについても考える取り組みを行いました。

①「フォトスポットをつくろう」では、大津市企業局の協力を得て、マンホールキャップのデザインを考えました。この取り組みを通して、マンホールの先にある世界（水の循環）についても理解を深めました。

②③⑤「伊香立の魅力を発信しよう」「中学校の取り組みを発信しよう」「伊香立を盛り上げよう」では、伊香立の森にある間伐材を利用して、キーホルダーを作成しました。小学校の児童が伐採作業を手伝い、地域の企業の協力を得て形を整え、そのキーホルダーにマンホールキャップのデザインを焼印しました。また、2025年に行われる国スポ・障スポの少年サッカーの会場となることから、おおつ光ルくんのサッカーバージョンのイラストも焼印しました。そして、そのキーホルダーを地域のイベントで配布して、小中学校の取り組みを発信しました。

④「小中で合同のイベントを実施しよう」では、小中の児童会・生徒会がコラボして、去年に引き続き、小学校の芝生グラウンドで合同イベントを実施しました。去年の夢プロで考案した「伊香立健康体操」をさらにバージョンアップさせ、みんなで体操を行いました。また、保育園・幼稚園の園児を交えて、リレーやじゃんけん列車なども行いました。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



～SDGsの視点を基に、地域とともに
今、自分たちにできることを考える～

真野中学校

○概要

本校は、「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、地球規模で考え、自分たちの身近なところから行動する「まのまる夢プロ」に取り組んでいる。今年度は、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」と、目標16「平和と公正をすべての人に」を中心ターゲットにし、生徒会の夢プロリーダーが計画、運営する「夢プロ授業」を実施し、全校生徒で取り組みについて話し合い、決定している。



本校では、毎年、生徒会の夢プロリーダーが計画、運営する「夢プロ授業」をおこない、全校生徒でプロジェクトの方向性を話し合い、決定している。今年度は12月にオンラインで各教室をつなぎ、夢プロ授業を実施した。

SDGs目標11については、「日頃私たちを見守ってくださっている地域ボランティアの方が、どんな思いで活動されているかを知りたい」と、インタビューを実施し、夢プロ授業で全校に伝えた。そして、感謝の気持ちを伝えるため、お守りを製作し、学校運営協議会で贈呈する。

目標16では、ガザ人道危機支援のユニセフ募金に取り組むことになっていたが、1月に起きた能登半島地震を受け、能登半島支援も合わせて取り組むことを3学期始業式で提案し、全校の承諾を得た。1月に校内募金、2月に街頭募金に取り組み、有志の生徒も合わせ、35名が街頭募金活動に参加した。

こうした取り組みを通して、社会に貢献する心、地域住民の一員として街づくりに参画する意欲を高めることにつながった。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



SDGsで環境問題を考える～美しい堅田の街づくり～ 堅田中学校

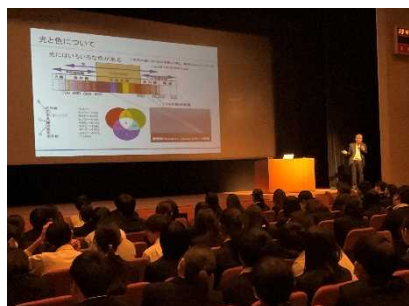
○概要

Think Globally, Act Locally. 世界規模で考え、身近な地域で行動する。堅田の街で自分たちにできることから行動していきたいと考えました。地域連携カレンダーを作成し、学校運営協議会と生徒会が連携し、清掃活動やペットボトルの回収など様々な活動を行いました。最後は、ペットボトルツリーやキャップアートを制作する予定です。リサイクル、リフューズ、リユース、リデュースの4Rを呼び掛け、SDGsの「住み続けられるまちづくり」や「つかう責任」につながると考えました。



堅田には、花の植え替え、地域の清掃活動、ヨシ刈りなどのたくさんの地域行事があります。地域連携カレンダーをつくり、校内だけではなく地域にも発信し、地域の方や生徒が当事者意識を持ち、学校・地域が一体となって学校夢づくりプロジェクトやコミュニティ・スクールの取組を進めることができました。たくさんの生徒が地域の方と一緒にボランティア活動に参加することによって、お互いを知り、堅田の街を知ることにつながる。これが災害時のコミュニケーションにつながり、コミュニティ・スクールのテーマである防災・減災の土台作りになると考え取り組みました。

11月には、学校夢づくりプロジェクト特別講演として、滋賀県地球温暖化防止推進センター推進員の方にご講演をいただいた後、海洋ゴミ楽器集団ゴミンゾク様にコンサートを開催していただきました。生徒にとって、驚きや新たな発見、たくさんの学びがある充実した内容になりました。2月には、学校運営協議会と連携・協働し、生徒がコミュニティカフェを運営し、売り上げを能登半島地震で被災された方々への義援金にあてます。また、集めたペットボトルを使って、巨大ペットボトルツリー、ペットボトルキャップアートにも挑戦します。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



地域に届け!仰木愛—仰木の魅力・誇りをお菓子に乗せて— 仰木中学校①

○概要

学校夢づくりプロジェクトの2本柱のひとつとして美術部が中心となり、地域のお店とつながり、芸術を通して仰木の魅力を伝える活動をしています。成安造形大学の先生や学生の方、菓子工房「道草」のパティシエやオーナーと一緒に仰木の魅力を発信できるように試行錯誤し、取り組んでいます。

今年は、「仰木の一本桜」と「仰木太鼓」をテーマに、ケーキや保冷剤のデザインを工夫し、より多くの人に想いが届くように、工夫を重ねました。



①フィールドワーク



②インタビュー



③アイデア出し



④中間発表

【5/27 地域を知る】 仰木の地域を散策。一本桜の下に寝そべり、自然を感じる。(写真①)

【9/9 お茶会】 「道草」訪問。おこづかい500円でスイーツを買い、お茶会をする。

【9/12 道草インタビュー】 オーナー・パティシエに想いをインタビュー。(写真②)

【9/29 文化祭】 仰木太鼓の演奏を鑑賞。耳ではなく、体で音を感じる。

【10/7 保冷剤・ケーキアイデア】 仰木太鼓や一本桜の魅力をデザインに落とし込む。

【11/25 アイデアを立体化】 作り手・消費者を想定し、作りやすさ・食べやすさを検討。(写真③)

【12/2 アイデアを絞る】 たくさん考えたアイデアの中から、プレゼンする商品を厳選。

【12/8 道草に中間プレゼン】 商品に込めた想いや魅力をプレゼン。改善点を聞く。(写真④)

【12/9 商品のアップデート】 中間プレゼンを経て、いただいたアドバイスをもとに改良。

【12/12 最終プレゼン】 アップデートした内容をプレゼン。パティシエに合格をもらう。

【1/13 保冷剤・チラシづくり】 タブレットを駆使して宣伝チラシの作成。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



昇降口を「今日も頑張ろう」「明日も頑張ろう」と思える場所へ 仰木中学校②

○概要

学校夢づくりプロジェクトの2本柱の1つとして、生徒会が中心となって取り組んだことは、昇降口を「今日も頑張ろう」「明日も頑張ろう」と思える場所にすることです。仰木中の昇降口は、天気が悪い日は、光がささず、暗くなります。学校の始めと終わりに通る場所が暗いのでは、気持ちも暗くなってしまいます。昇降口を全校生徒が明るい気持ちをもてるような場所にしようと活動しています。



- 4月 夢プロジェクト計画会議で3つの案に絞られる。
- 5月 昇降口を「今日も頑張ろう」「明日も頑張ろう」と思える場所
変える活動にすることに決定
今の昇降口のイメージとこれからなりたい昇降口のイメージを共有
 - 下駄箱の色を変える。◦蛍光灯をLDEライトに変える。
 - 全校生徒が昇降口で明るい気持ちになることを考える。
- 6月 成安造形大学の先生に相談する内容を考える。
- 8月 成安造形大学の先生に相談
 - 下駄箱の色を白色に変える
 - 1人1人が前向きになるイメージが違うから、一人ひとりに合ったものにする。
 - 匂いも気持ちが幸せになるものになる。
- 9月 文化祭全校取組で下駄箱の色を白色に変える。
(写真①、②、③)
- 11月 新生徒会に引継ぎをし、全校取組で生徒一人ひとり下駄箱
に「今日も頑張ろう」「明日も頑張ろう」と思えるイラスト、写
真、言葉を入れる。(写真④)

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



日吉地域の良さを知り、地域とふれあいながら、
生徒一人一人が生き生きと活動に参加する。

日吉中学校

〇概要

日吉中学校「学校夢づくりプロジェクト」での3つの取り組み

①「延暦寺での合唱披露」 ② 生徒会活動「あいさつの花」運動 ③「日吉フォトアワード 2023」

①「延暦寺での合唱奉納」



日吉中学校では、学校教育目標「きびしく やさしく たくましく 生きる生徒の育成」を目指しており、今年度「学校夢づくりプロジェクト」において3つの取組を通して、この目標の実現を進めた。

①「延暦寺での合唱奉納」

… 合唱コンクールで選ばれた代表クラスが世界遺産の比叡山延暦寺根本中堂にて合唱を披露する。

②生徒会活動「あいさつの花」運動

… 朝生徒が挨拶とともにシールを貼って多様性を示す掲示物をつくっていく。文化祭で披露し、その写真入りのクリアファイルをつくり生徒に配布する。

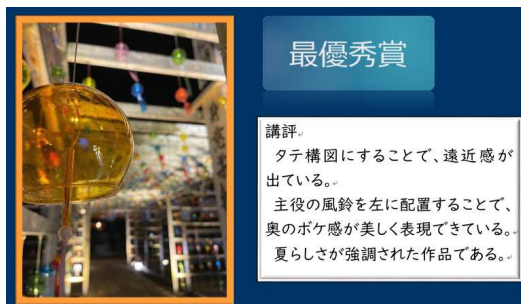
③「日吉フォトアワード2023」

… 生徒一人一人が日吉地域でお気に入りの写真をタブレットで撮影し展示する。地域の方に審査してもらい表彰する。

②生徒会活動「あいさつの花」運動



③「日吉フォトアワード2023」



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



唐崎活性化プロジェクト

唐崎中学校

○概要

前年度より、唐崎の観光地化を目指して取り組みを進める中で、「唐咲桜通り」をPRするため、フォトコンテストを実施し、その優秀作品をクリアファイルにし、生徒や地域に配布することを行った。また、今年度は、全校生徒が「どうすれば唐崎を盛り上げられるか」ということについて話し合う時間をとり、そこから出た意見をもとに、SDGsの視点も取り入れ、ペットボトルツリーを作成した。全校生徒にペットボトル回収を呼びかけ、唐崎中学校のロータリーにツリーを設置し、地域の方や多くの生徒が見守る中で点灯式を行った。また、昨年度に設置した掲示板にも電飾を施し、桜通りを華やかにすることができた。



前年度の学校夢づくりプロジェクトで唐崎中学校前の通りを「唐咲桜通り」と命名し、それを中心に、唐崎を盛り上げていく取り組みを行った。

春休みに実施した、フォトコンテストは、生徒だけではなく、地域の方からも応募があり、その中から優秀作品を選び、クリアファイルを作成した。それを生徒だけでなく、小学生や地域の方にも配布することができ、「唐咲桜通り」をアピールできた。

また、例年の夢づくりプロジェクトが、生徒会主体になりすぎていることから、全校生徒を巻き込みながら取り組みを考えた。学級で話し合う時間を設け、アンケートを実施し、全校生徒で唐崎を盛り上げる案を考えることができた。

その中の意見であがった「ライトアップ」をアレンジし、SDGsの観点を意識して、ペットボトルツリーを作成した。全校生徒に向けて、ペットボトルの回収を呼びかけ、地域の方に助けていただき、デザイン作成や、設置場所の選定、ツリーの制作までを生徒が行った。

そして、地域の方や生徒が参加して、ペットボトルツリーの点灯式を行うことができ、生徒が達成感を得るとともに、地域と学校が繋がる取り組みとなった。今後も生徒の思いと地域をつなぐ取り組みを続けていきたい。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



PhotoBookで地域を明るく!!～皇中地域応援隊～

皇子山中学校

○概要

学校教育目標「皇子山中学校・校区を愛し、校区の次代を担う生徒」を具現化する取り組みの一つとして、第2学年7学級を対象に、総合的な学習の時間で実施した。地域の魅力を感じるスポットを生徒が取材し、その際に撮影してきた写真とコメントをレイアウトしてスポットのPRポスターを生徒それぞれが作成し、それらを集約してPhotoBookとして冊子にまとめた。



・校区の様々な名勝・名跡、伝統文化、見どころ、味どころ、商店など、生徒が地域の魅力を感じるスポットを、生徒自身が取材し、スポットを紹介する1ページのデザインを考えた。

観光名所ばかりではなく、見晴らしのよい景色が見られるポイントや、校区散策の際に一息つける公園など、中学生特有の感性が反映された内容とデザインになっている。

・取り組みによって、生徒たち自身にとっても自分たちの校区のよさや地域の魅力を再発見し、地域への愛情を深めるきっかけになった。

また、学校運営協議会において、プロジェクトの計画から経過の報告など随時連携しているが、地域の方々からはPhotoBookを活用して地域散策のモデルコースを企画し、地域の活性化に繋がるよう活用を計画したいという声を頂いている。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



憩いの場である中庭のリニューアル拡大

大津市立打出中学校

○概要

昨年度タイルペイント、人工芝、花壇の設置を行う中で、生徒から「憩いの場がさらに広がったらいいな」という多くの声があった。そこで、今年度も昨年度と同様の取り組みである、中庭の整備を進めることで、生徒にとっての憩いの場を広げるようにした。



7月に全校生徒に中庭のリニューアルの趣旨を伝え、中庭のタイルに描くペイントのデザインを募集した。そして、有志である「夢プロ実行委員」によってデザインの選考を行った。

9月に夢プロ実行委員とPTAの方々で中庭の雑草を抜き、10月には人工芝を敷き、形や長さを計算しながら進めた。

1月にタイルペイントを行った。昨年度タイルペイントを行った生徒を中心に下書きからペイントを進めていった。

2月に福祉委員会によって、花壇の整備と設置を行った。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



全校生徒で制作する「全校展示」

栗津中学校

○概要

栗津中学校の体育館のステージに全校生徒で制作した一枚の大きな絵を展示。全校生徒から募集したデザインを、全校生徒全員で仕上げ、誰もが目にすることができる体育館に展示することで、達成感や充実感を得られるようにすることが目的。また、生徒が中心となって行う活動に参加することで、栗津中学校の生徒であるという実感を持たせる。



栗津中学校では毎年、体育館のステージに大津市や地域のことに関わる制作物を展示している。今までこの活動は、担当する生徒たちだけで制作されていた。それを今年度より、「全校生徒が制作する『全校展示』」という形に変更した。

まず、1学期中に全校生徒に趣旨を説明し、どのような風景や絵を展示したいかのアンケートを行った。その中から今年は、今年度から再開された「びわ湖花火大会」の風景が選ばれ、全校で制作することが決定した。

2学期中旬に、指定された枠にシールを貼っていき1人1枚程度の絵を完成させ、それを全校分貼り合わせた。完成した作品を見た生徒からは思わず「すごい」という声が漏れ、拍手が起こった。体育館のステージに展示することで、生徒の目に触れる機会も多く、自分たちが作ったという達成感や充実感を得ることができた。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト

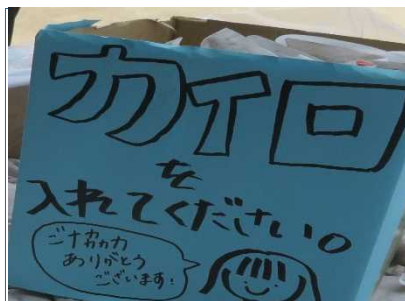


使い捨てカイロリサイクルプロジェクト

栗津中学校

○概要

一昨年度より、生徒会で行ってきた使い捨てカイロのリサイクル活動のまとめとして、回収した使い捨てカイロを企業へ送った。今年度より、カイロ回収会社が愛知県のみになったので、回収したカイロは企業に送らせていただいた。栗津中学校の伝統とすることで、栗津中学校のどんな生徒にも、SDGsに対する意識が高め、よりよい社会や世界にしていこうという考えを持つことができる。



2023年の冬から生徒会執行部が作成した「カイロ回収ボックス」を各学年の昇降口に設置。この活動の中心となった生徒は「全校生徒の目に入る位置に設置し、校内放送でアナウンスすることで、全校生徒が参加できる活動にしたい」という思いを話していました。

Go Green Groupの方から「毎年使い捨てカイロを生徒のみなさんで集め、多くのカイロが集まっていることから、みなさんの環境をよくしようという意識が高まっていると思います」という話をいただきました。

栗津中学校ではカイロ以外にも回収物を集めており、よりよい社会にするために一人ひとりができることを考えるきっかけとしていきたい。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



「あわ花通り」花苗植え活動

栗津中学校

○概要

栗津中学校前の湖岸道路、琵琶湖側の歩道並木道約100メートルに、四季折々の花苗を植える。歩道を行き交う方々に楽しんでいただく地域貢献の取り組みを通して、栗津中学校の生徒としての誇りを抱くとともに、生徒たちが登校する学校には、いつもきれいな花が咲いていることで、栗津中学校をこれまで以上に好きになるきっかけとしたい。



SDGsを通した教育活動の充実を目指す柱の一つとして、昨年度に引き続き「あわ花通り」花苗植えの取り組みを11月に行いました。

今年度は生徒会執行部、福祉環境委員の生徒、地域や保護者の方々にも参加していただきました。また今年度はより華やかな通りになるようにという願いを込め、芝桜とビオラを合わせて1000株以上植えました。

活動に参加した生徒からは「自分たちで植えると愛着が湧く。今後も世話をしていき、生徒だけでなく、地域の方にも見てもらえる自慢の通りとしたい」と話していました。

生徒会執行部や福祉環境委員の生徒が中心となって、「あわ花通り」の世話をして大切に守っていきたい。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



「花いっぱい 笑顔いっぱい 北大路中学校区」プロジェクト 北大路中学校

○概要

本校の校庭にはたくさんの桜の木がある。しかし、桜の開花と卒業式や入学式とのタイミングがあわず、生徒や保護者から残念がる声が聞かれる。「桜でなくてもきれいな花で、卒業生を送り、新入生を迎えられたらいいな」、そんな生徒の声をもとに、校門前の校内道路(約200m)にプランターを並べ、「北大路中学校フラワーロード」を作る。また、育てたプランターの一部を地域の校庭等に届ける。(令和3年度から3年目)



《取組の様子》

2学期に、生徒会執行部と美化委員、そして、ボランティア生徒で、パンジー、ビオラの植え付け作業を行いました。そして、美化委員を中心に、水やり等、花の世話に取り組んでいます。卒業式や入学式の「花道」のあとも、5月中頃まで、フラワーロードの花々を楽しむことができます。本校への来校者や学校付近を散歩される地域の方から、延々とプランターが並ぶ景観に評価の声をいただいています。

また、プランターの一部を学区内の幼稚園・保育園・小学校・市民センターに届けています。今年は職場体験でお世話になった事業所にも届けました。そして、新たな取組として、地域の方にも手軽に花を育てていただくために、地域のイベント等で「花の種」を配布させていただきました。種の入っている袋は、生徒がデザインしたものです。

花と一緒にたくさんの笑顔が地域に広がることを願っています。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



中庭をさらに人の集まる憩いの場に

石山中学校

○概要

一昨年度より「再生」をテーマに学校、地域、保護者が思いをひとつに、中庭を「人の集う場所」にしてい
くべく、地元工務店と生徒が協力して2年にわたり中庭にベンチを制作した。今年度はその場をさらに利
用しやすく、「さらに人が集まる憩いの場」を目指して、この2年で設置してきたベンチのコンクリートス
ペース（上靴で利用できるスペース）の拡張を実施した。また委員会活動の活性化や地域の人々による利用
を想定して、共同の花壇スペースを作成した。



教室棟と特別教室棟の間にある中庭には、この2年で設置されたベンチがあるが、上靴のまま利用できるのはコンクリートが施工されている部分（ベンチの片側）だけで、草地側は下靴に履き替えないと利用できなかった。今年度はベンチ周りの草地側をコンクリート化し、上靴で利用できるようにすることと、花が咲き、人が集いたくなる場所を創出するために、花壇の制作を行った。アイデアは全校生徒から募集し、生徒の代表である生徒会三役と相談した上で、今年度の事業を実施した。

ボランティアメンバーを募集したところ、3学年から総勢22名が集まり、3日に渡って手作業で工事を進めた。工事には、職場体験学習でもお世話になっている地元の工務店に協力いただいた。作業は想像以上に力仕事で、1回3時間程度の作業で、全員が筋肉痛を訴えるほどだった。プロの職人さんに指導いただきながら、その仕事の丁寧さを間近で見られたことで、学びも大変多かった。

今後は花壇の運用を進めるべく、その方法について生活環境委員会が中心となって検討し、地域の方にも活用いただく予定である。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



ホタルを守ろう、ホタルの学校

南郷中学校

○概要

南郷中学校区にある千丈川にはホタルが生息しています。そのほたるを守るため、自然保護や環境美化の取り組みとして、千丈川の清掃活動を行いました。

また、自分たちの生活する地域の憩いの場である南郷公園の清掃にも地域の方と一緒に取り組みました。こうした地域貢献により中学生と地域の方との交流を深めることができました。



5月の生徒総会において千丈川の清掃を行いたいと要望が生徒から出たことが活動のきっかけとなりました。これまでも毎年南郷公園の清掃活動に取り組んでおり、こうした地域に貢献できる活動を、今年度は学校夢づくりプロジェクトで行うことにしました。

この2つの活動は、全校生徒にボランティアの募集をかけて行いました。千丈川の清掃には約60名、南郷公園の清掃には約120名の生徒が参加しました。

千丈川の清掃では、当日「ホタルの学校」の荒井紀子さんからホタルを守る活動についてのご講演をしていただきました。その後、千丈川のごみ拾いや、環境保護啓発ポスターの掲示等を行いました。

南郷公園の清掃では、南郷学区老人クラブの方々と一緒に落ち葉拾い等行いました。

参加した生徒からは、「地域がきれいになって気持ちがいい」といった感想がたくさんあり、今後も地域の方と連携してこうした活動に取り組んでいきたいと考えています。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



田上中ポイ捨てクリーンウォーク ～ともに汗して「ふるさと」を美しく～

田上中学校

○概要

ここまで本校の生徒が培ってきたボランティア・スピリッツを活かし、5回(5ルート)にわたって「田上中ポイ捨てクリーンウォーク」と名付けたボランティア活動(地域美化活動)に取り組んだ。その際には、生徒だけで活動するのではなく、保護者や近隣地域の方もいっしょに活動できるような働きかけをし、「ふるさとをきれいにしたい」という中学生の思いを総勢のべ83名によって共有しながらともに汗を流して活動した。



全5回、5ルート(稲津・石居ルート、天神川周回ルート、上田ルート、関津かし祭ルート、田上中周辺ルート、全約12km)の道路にポイ捨てされている心ない吸い殻や空き缶などを拾い集め、ともに汗を流し、ふるさとをきれいにすることができました。

●生徒の感想

- ・心ないポイ捨てをみて悲しくなったけれど、拾い集めたゴミの分だけ、まちを美しくできたことを実感し、うれしくなった。
- ・中学生として地域に貢献できたことが、私たちの自信につながります。
- ・地域の方といっしょに取り組んだり、関わったりすることで、地域を盛り上げていけるようなたくさんの経験をこれからも積んでいきたいと思いました。

●参加された保護者の方や地域の方などの感想

- ・朝とは言え暑かったけれど、みなさんとともに時間を過ごせてとても気持ちがよかったです。
- ・田上中の応援団として、同じ思いを持つみなさんと地域を美しくする活動に取り組めることは、たいへんうれしいことです。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



青山イルミネーションプロジェクト

青山小・中学校

○概要

青山中学校では「校区のごみ拾いと落ち葉拾い」「イルミネーションを通して地域の明るい話題作りに貢献する」を柱にして取り組む。

生徒の考えたデザインをもとに、生徒会執行部が中心となって、有志の生徒も参加し、校外から見えるフェンスにイルミネーションの設置を行った。地域を明るく、元気に、安全にできるよう願いを込めて青山中学校、そして青山地域に灯りとをともす。



11月下旬、全校にデザインの募集を行い、全体のバランスや色合いを考えながら生徒が主体となり、今年度のデザインを考えました。

12月上旬中学校の西側のフェンスに、生徒会執行部とボランティア参加の生徒約70人が、寒さで手がかじかむ中でしたが、作業を進めていきました。3年目ということもあり、手際よく進めていくことができました。また、先輩から後輩へイルミネーション取り付け作業の技術が受け継がれている姿が見られました。

12月8日、点灯式のセレモニーが行われました。生徒会長による「3、2、1」のカウントダウンの後、一斉にLEDライトのスイッチが押されると、星やハートなど幾何学模様がキラキラと色鮮やかに絵が浮かび上がりました。地域の方からも「今日の日を楽しみにしていました」というお声を頂きました。



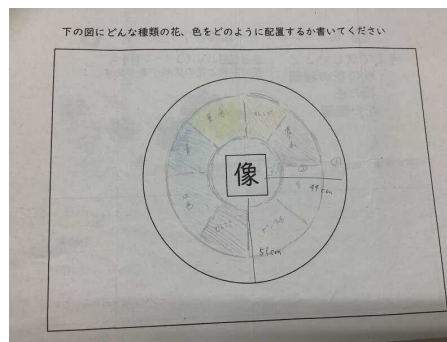
令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



瀬田中「絆」プロジェクト ～中庭を全校生徒の憩いの場所に～ 瀬田中学校

○概要

一昨年と昨年度に取り組んだ「中庭倉庫の壁アート」をさらに発展させるために、校内公募で花壇を設置することに決定した。地域の方や学生ボランティアにも声をかけ、中庭整備に協力いただくと共に、中庭を出発し、近江国庁跡までの掃除活動を企画した。これらの活動を通して、地域とのつながりを深め、地域貢献に対する意識が高まった。



前年度から、現在立ち入り禁止の中庭が生徒や地域の憩いの場となるように生徒会で中庭を鮮やかにしようと取り組んでいます。

今年は「庭プロジェクト～華を咲かせ明るい学校へ～」をテーマに花壇の作成をしています。生徒会でアンケート用紙を作り、全校に花のデザインを募集しました。その後、レンガの色や種類を選び、業者の方と花壇を作りました。

現在、花植えに向けて、肥料を入れ、何度も耕して土を柔らかくしています。2月半ばに保護者の方、地域の方と一緒に、花植えを行う予定です。

令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



階段アート プロジェクト

瀬田北中学校

○概要

校舎内の階段計4か所に設置されている階段アートが、ずいぶん古くなり傷みがはげしくなっていました。教室へ向かう階段にきれいな階段アートを復活させようと夢プロジェクトで取り組みました。瀬田北中学生徒の4つのあたりまえである「あいさつ・礼儀・身だしなみ・思いやり」について呼びかける標語とイメージイラストを生徒から募集することで、より多くの生徒に「4つのあたりまえ」について今一度考える機会にもなりました。



セタキタイガーは
瀬田北中学校の
マスコット
キャラクターです

- ①夏休みに原画と標語を全校生徒に募集する。
＜原画のテーマ＞「セタキタイガー」 or 「輝け、私たちの夢」
＜標語のテーマ＞「あいさつ」「礼儀」「身だしなみ」「思いやり」
- ②各学年から1つ以上の原画を決定する。(学級委員会)
各標語から1つ、計4つの標語を決定する。(学級委員会)
- ③原画を模造紙A0(84cm×120cm)に拡大印刷。
- ④美術部+原画作成者で着色。
- ⑤標語挿入・印刷・カットtingを業
- ⑥階段に貼り付け(学級委員会)
- ⑦募集したイラストは卒業式の式次第にも登場予定です。

